

福生市町会長協議会 会報

ちいき (地域)

発行 福生市町会長協議会 会長 溝渕幸太郎



あいさつで地域を活性化
「あいさつ運動」を進めます

あいさつは身近なコミュニケーションの手段であり、あいさつすることで気持が明るくなったり毎日をすがすがしく過ごすことができます。このような簡単にできる「あいさつ」を町会長協議会では、今年、各町会・自治会全体の「あいさつ運動」として取り組んでいます。

近年は、防犯・防災・環境美化、高齢者の見守り、さらに地域の対応がより望まれる子ども見守りなど、いずれも町会・自治会の地域活動の担い手としての役割が増してきております。地域で気軽に声をかけあう「あいさつ運動」は市民間のコミュニケーションを図り、地域の様々な活動へ地域住民の参加を図ることにつながるものと思われま

す。しかし、地域の活動は町会・自治会だけで行っている訳ではありません。老人会、PTA、小中学校、また、青少年育成地区委員長会、民生児童委員協議会など様々な団体と連携しています。あいさつ運動の取り組みもそれぞれの組織の特徴を活かし、横のつながりも大切に進めて行きたいと考えております。

福生市町会長協議会長 溝渕幸太郎

あいさつで 豊かな心と街づくり

あいさつ運動標語一席 滝 民子さん (熊川住宅自治会)

あいさつ運動ポスター一席 山本恭史さん (長沢町会)

あいさつ運動標語二席

あいさつし 皆顔みしり 安心の町

あいさつを 交わして築く 地域の絆 田中正三さん (本町第一町会)

あいさつが 結ぶ人の和 地域の輪 山上高広さん (本町第七町会)

あいさつ運動標語佳作

あいさつが 結ぶ人の和 地域の輪

ここにこと 交わすあなたの挨拶で つなぐ人の和 心の和 五十嵐靖子さん (熊川住宅自治会)

ここにこと 交わすあなたの挨拶で つなぐ人の和 心の和 中村康子さん (南田園二丁目町会)

あいさつで 地域も明るく 活性化

村野光雄さん (牛浜第一町会)

軽スポーツ&とん汁会で あいさつキャンペーン

日時 11月19日(日)
午前10時～午後2時
場所 多摩川中央公園
内容 ・あいさつ運動標語、ポスター入選作品を紹介
・入選者表彰
・あいさつ凧作り、凧あげコーナー
自分の好きなあいさつ標語の凧を作って空高く揚げよう



明るく、気持ちのよいあいさつができるように、市民の皆さんからあいさつ運動の標語とポスターを募集しました。たくさん応募をいただき、ありがとうございました。町会長協議会・活性化部会で審査し、次の作品が入選となりました。

- ・ポスター一席 山本恭史さん(長沢町会)
- ・ポスター二席 久保陽介さん(本町第八第一町会)
- ・ポスター一席 1ページに掲載してあります
- ・ポスター二席 山崎克己さん(志茂第一町会)

あいさつ運動 標語・ポスター入選作品紹介

あいさつ運動 今後の予定

今回募集したポスター・標語の入選作品は、今後あいさつ運動のポスター、横断幕、のぼり旗などに使用し、市民のみなさんに、あいさつの大切さや「あいさつ運動」への取り組みを広めるために、市内各所に掲示します。



東京あいさつフェスタに参加

7月9日に東京都が主催した「東京あいさつフェスタ」に福生市のあいさつボランティア24人が参加しました。各地で実践されているあいさつの取り組みを参考に市内各地域であいさつ運動を進めます。

ボランティア活動ユニフォームをお貸しします

皆さんであいさつ運動を進めたり、また、皆さんの日ごろのボランティア活動に感謝する気持ちをこめてユニフォームをそろえ、町会・自治会単位でお貸しします。その資金は(財)自治総合センターの補助金でまかなわれます。また、あいさつ運動のさまざまな取り組みや、会報「ちいき」の発行も福生市のあいさつ運動事業の補助金及び東京都の青少年健全育成支援事業補助金を受けて行われます。



わたしたちの町会・自治会

おはようございます。ご苦労さん。元気のいい子供たちの受付でのあいさつ。今日は町会の運動会。昭和62年秋に熊川地域体育館の完成を祝して始まった町会親睦ミニ運動会。以来、私たちの運動会はお天気の心配が無く安心して行われています。参加者は180名前後。体育館の先生の指導により準備体操をしてから、紅白に分かれて競技を行います。町会内外の協賛スポンサーのお世話にもなり、多数の商品も用意できるようになっていきます。子供会、青少年協を中心としたプログラム編集担当の企画した種目（ゴミの分別収集が始まったときはそれにちなんだ種目、カーリングがはやればそれを取り入れたカローリングも行いました。）で、隣組長さんを中心とした運営委員の尽力で、運動会会場としてはちよつと狭いのですが、それが親近感を生み、雨天の心配も無く、スポーツの秋を楽しんでいます。

楽しい町会親睦ミニ運動会は
雨天決行で20年??? 内出町会
内出町会長 石川勘治



を迎える今年は11月5日（日）に予定していますので大勢の参加をお待ちしています。

地域内が安心して住めるよう、青少年協、子供会、福寿会等各種団体の協力を得ながら、町会会員はもとより、隣組長さんを始め理事、役員一同頑張っています。楽しい「ちいき」づくりを目指していますので、内出町会地域の町会未加入の方、随時会員を募集いたしますのでご加入ください。（内出町会は、隣組数が40組、加入世帯数は231世帯）

☆☆☆ ふっさ再発見 ☆☆☆ vol.2

毎年7月の最後の土曜・日曜に市内の祭礼が行われます。今年で3回目を迎えた原ヶ谷戸町会、本町第七町会、本町第八第一町内会、本町第八第二町内会、武蔵野台町会の



東口駅前 祭礼イベント

五町会合同による神輿・山車の巡行は、7月30日の午後4時すぎ、福生駅東口駅前に集まり、広場を埋め尽くす観客の前でお囃子と威勢のよい掛け声とともに披露されました。地域の力が集結し地域の活性化を進める恒例の行事となっています。



コミュニケーションの大切さ

鍋ヶ谷戸第一町会 石井 勇

鍋一町会の町会加入世帯数は470世帯(約47%の加入率)。当地区には、熊川地区の象徴・東京都の重要文化財である熊川神社があります。この神社の境内に町会の会館があります。老人クラブ・青少年育成委員会・はやし連・小中PTAの人と共に町会活動をしております。春は球技大会(キックベースボール・ソフトバレーボール)、夏は夏祭り(盆踊り・神輿・山車・演芸会)、秋は運動会と、町会の皆様と楽しいひと時を過ごさせていただいております。

ところで、毎日のように悲惨な事件が起きております。この一因に「お互いの思いやり」の欠乏があげられるのではないのでしょうか。時間的な問題もありましようが、家庭・地域ともコミュニケーションの場や時間が少なくなっています。昔は、井戸端会議のような場所や家の縁側で気軽に話し合える場所がありました。しかし、今は、隣人さえも知らない状況であります。こんな中、地震などの災害があったらどうでしょう？隣の人の顔さえ知らないなかでは、

お互い助け合っていくことは難しいでしょう。こうしてみると、いかに日頃の交流が大事であるかがわかります。

確かに、今、広報などが充実していますので、町会に加入しなくても市の出来事や予定は分かれます。しかし、その地域の動向や人間味はわかりません。地域の人達との交流を通し、お互いを理解し、お互いが助け合える心が芽生えれば最高です。わが町会でも、先ごろ「柔軟体操と太極拳」を週一回会館で始めました。健康促進の意味もありますが、一人でも多くの人に町会の輪に入ってもらいたい趣旨でもあります。多数の人々が気軽に参加できる場を提供していきたいと思っております。



天保神輿はわが町のお宝

本町第八第一町内会 中倉 眞知子

本八第一町内会のエリアは、市内では新開地といえる福生駅の北東に位置します。本八町内会として発足した当初から、子供神輿はありましたが大人神輿はなく、それを持つことが町内会の長年の夢でした。一時期は神輿が祭礼を盛り立ててくれていましたが、毎年酒樽に新しい菰を巻いて神輿に仕立てる作業は、とても大変なものだったようです。

そんな折、加美町会の物置に放置されていた古いお神輿を、我が町内会で譲り受けることになりました。昭和52年の末のことです。当時の町会長、渡辺宣信さんは「譲ってもらったものの、これが神輿？と思うほど痛みがひどくてね」と笑ってその時の様子を振り返られます。ところが、五百数十名の方々の寄付を受けて修復作業が始まると、取り外された金具の裏側に、こんな文字が発見されたのです。「再危天保十二年辛丑夏六月吉日」。その昔、福生村内で持ち回りで担がれていたというお神輿は、なんと、江戸時代の天保年間に作られたものだったのです。真贋のほど

は、当時福生村の名主総代だった田村家の日記帳に、同年同月に支払った神輿代金が記載されていたことから実証されています。

さて、この由緒あるお神輿、平成15年度にも多くの方々からご寄付をいただいて、新たに修復をしました。水引の朱も鮮やかな天保神輿は今年の夏も「ふっさ」と染め抜かれた半纏の衆に担がれて、ソイヤ、ソイヤと町を練り歩いたのでした。



永田町会の祭礼

永田町会 笹本 和一

永田町会の会員数は、三百数世帯です。祭礼には、神・子供みこし・大人みこし(樽みこし)・山車が町内を二日間巡行するので、多



数の人に参加していただかないと出来ないのですが、町会には組長・永志会・永楽会・永和会・永友会・青少年協・永田子供会・永遠の会・福寿会等の各団体があり、この人達がリーダーとなり祭礼が行われましたが、皆様の協力で無事に終了出来ました。

また、町会には会則として年番制があり(複数組の輪番制とし、総会・祭礼の賄事を主催する)、祭礼の時には多数の人の賄事をするのは大変ですが、年番が隣組同士なので町会の皆様には好評です。秋には秋の総会、堰上明神社の例大祭が行われる予定ですが、例年通り町会の皆様が一体となり、

催し物が出来ればと思っています。町会の会員を募集していますので、町会の役員まで連絡をお願いいたします。

牛浜第二町会の紹介

牛浜第二町会 工藤 国男

こんにちは、牛浜第二町会です。

牛浜第二町会は、下部組織の団体が12団体ございます、それぞれの団体と連携して地区の為に事業をしておりますので、活動の一部をご紹介します。社会参加事業として、町会では年に一度、町内の一斉清掃を行ない、福寿会の方々は公園や牛浜駅前などの清掃を毎月行なっております。福祉関係では、在宅福祉牛二地区はまゆうの会が老人の方と年に数回、お茶会など開催して健康管理などの手伝いをしております。また、犯罪の無い明るくて住みよい町づくりを目的に3年前より町会役員と委員、囃子連の役員と交互に、月に2回ほど防犯パトロールを行なっております。

今年からは牛二地区防災女性の会が結成され、消防署の方に来ていただき火災報知器の説明会などを二度ほど行なっております。また、10月1日には消防署と消防

団に協力をいただき、地区の防災訓練とレクリエーションを開催しました。

牛二地区自主防災組織では防災女性の会と連携して、取り付けが義務化される火災報知器を平成23年6月までには全家庭に設置されるように協力をしていこうと考えております。

以上、一部ですが、町会と各種団体が行なっております事業を、ご紹介いたしました。牛浜第二町会は今後とも町会内の各種団体と連携をして、地域の為に頑張つてまいります。



防災女性の会

広告掲載スペース

広告掲載スペース

町会・自治会に加入しましょう

町会長・自治会長一覧 (敬称略)	
町会・自治会名	町会長・自治会長名
福生熊川住宅自治会	佐々木 洋 亜
南町会	石内 章 弘
内出町会	石川 勘 治
武蔵野町会	小林 尚 司
福東町会	小宇都 紀 男
南田園一丁目町会	持田 冨 洸
鍋ヶ谷戸第一町会	石井 勇
鍋ヶ谷戸第二町会	森井 常 貴
玉川台町会	片桐 君 夫
富士見台町会	溝淵 幸 太郎
福栄町会	沼崎 敬 三
熊川牛浜町会	高橋 勉 一
福生団地自治会	高橋 工 子
南田園二丁目町会	西條 一 郎
南田園三丁目町会	上野 昌 平
牛浜第一町会	村野 光 雄
牛浜第二町会	工藤 藤 国 男
原ヶ谷戸町会	末次 和 夫
志茂第一町会	村野 和 男
志茂第二町会	田中 信 慶
本町第一町会	高橋 英 次
本町第二町会	高山 正 幸
本町第三町会	榎本 克 己
本町中央町会	本本 誠 一
本町第六町会	村尾 幸 男
本町第七町会	柳川 英 司
本町第八第一町内会	金子 子 行
本町第八第二町内会	小峰 峰 雄
武蔵野台一丁目町会	小西 木 健
加美平団地自治会	西川 川 博
永田町会	菅本 和 一
長沢町会	古谷 谷 義 夫
加美第一町会	武田 田 静 郎
加美第二町会	小村 村 光 一

町会・自治会は、地域に住む人々が親睦や交流を深めることによつて連帯を培い、お互い助け合いながら、よりよい地域づくりや、住みごこちのよいまちづくりのために、自主的に組織された団体です。加入される方は、各町会長・自治会長までご連絡ください。連絡先につきましては、福生市役所 協働推進課(電話551-1590)までお問合せください。

近所で
手を取りあって
助け合おう



まちのボランティア活動

自動車販売会社の
一日の始まり

南田園三丁目町会 会長 上野昌平

美化運動のかがみ、北田園の一角に店を持つ自動車販売会社の美化運動に関して私が感心し、体験したお話です。
この会社は、始業と同時にお店の周りはあたりまえの事、田園通り、裏通りとくまなく道路の清掃が毎日の日課となっております。

たまたま、ゴールデン・ウィークの初日の日、4月29日の朝、清掃中に従業員の方2名に逢いましたので「いつもご苦勞様です」と一声掛けました。丁度その時は私たちの町会、南田園三丁目の地域を清掃して下さっていました。その時、私が感じた事は、自分達の店の前をはるかに越えて、他の町会まで清掃してくれる心の大きさ、奉仕の心の原点を見ました。私は間髪を入れず「上に立つ社長の指導ですか?所長の指示ですか?」と伺うと、一言「いつもやっていきますから」と言う返事でした。この会社のスケールの大きさ、従業員の皆さんの奉仕の心、世の中まだ見捨てたものではないと

痛感しました。

この様な立派な事業所も市内を見廻れば多々あると思います。私たちの町会もこの様な心がけの事業所に負けないよう頑張らなくてはとつくづく感じたさすがに朝でした。

これからも世の為、人の為となり、社会の二本となつていただける事を期待しております。

編集後記

お読みいただき有難うございました。投稿くださいました皆様様に心よりお礼申し上げます。

袋小路の我が家は、七軒世帯の入口にあり、日本の縮図と同じ高齢者世帯です。ただ一人だけ高校生の若者がいます。顔を合わせての挨拶は当然で

すが、外に出ていて私が気がつかないときも、大きな声を掛けてきます。挨拶を交わすとなんとなくすがすがしい気持ちになり、元気をもらつております。町会長協議会では「あいさつ運動」を取り組み始めました。

会報「ちいき」の編集委員が決まり、微力ながら努力してまいります。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

編集委員長 森井常貴

編集委員 石内章弘・末次和夫
金子茂行・小村光一